

令和7年11月末の交通事故の特徴

発生件数	15,954件（－1,027件）
死者数	74人（－9人）
負傷者数	20,280人（－1,481人）
飲酒事故	84件（－6件）

【発生件数】

- 高齢者関連事故は5,568件（－325件）で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は4,037件（－95件）で微減
- 歩行者関連事故は1,891件（－189件）で約1割減少
- 自転車関連事故は2,484件（－168件）で約1割減少
- こども関連事故は574件（－31件）で約1割減少

【死者数】

- 福岡地区が33人（＋1人）で最多
- 高齢者の死者数は41人（－6人）で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が28人（－6人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は18人（－7人）で約3割減少
- 歩行中死者数は32人（－5人）で全死者数の約4割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は84件（－6件）と減少
- 筑豊地区が11件（＋11件）と増加
- 福岡市での発生が23件（＋2件）と増加
- 酒酔いが5件（＋2件）、基準以下が9件（＋7件）と増加
- 死者数は3人（＋1人）と増加
- 6～8時が16件（＋3件）と最多

注 （ ）の数値は、前年同期比